

東武鉄道杯少年野球大会規定

1. 1チームの選手登録は原則として20名（5年生以下）とする。
2. 組合せの若番号が1塁側ベンチ、後番号が3塁側ベンチとする。
3. 監督、コーチは選手と同じユニホームを着用する。
4. 各チームは試合開始時間1時間前に試合グラウンドに集合する。
5. 審判は各チームより2名とする。ただし、球審は本部審判部とする。
(審判服を着用し、第1試合のチームが第2試合の、第2試合のチームが第3試合の、第3試合のチームが第1試合の審判を行う。なお、2試合の場合は、第1試合のチームが第2試合、第2試合のチームが第1試合とする。若番号が2塁・記録、後番号が1・3塁)
6. 投球練習は、初回7球、以降3球とする。
7. 変化球は認めない。
8. 試合は6回戦とし、試合時間は1時間30分を超えて新たなイニングに入らない。時間内に決着がつかない場合は、特別方式（タイブレーク）にて決定する。

特別方式：無死満塁、継続打順を採用、その回数は2イニングを限度とし、勝敗が決しない場合は抽選とする。
9. 試合は、3回以降10点、4回以降7点差をもってコールドゲームとする。
10. 降雨、日没の場合は4回もしくは60分を経過した時に試合成立とし、同点の場合は抽選とする。未成立の場合は再試合とする。
11. 監督またはコーチがタイムを要求し、選手にアドバイスする時は速やかに行う。
12. 試合中ルール上微妙なプレイが生じた場合は、審判員が協議し判定する。
13. ヘルメットは1チーム8個以上同色のものを揃える。
14. 捕手はプロテクター、レガースおよび捕手用ヘルメットを着用する。
15. ホームベースは一般用とし、ベースは移動・固定ベース併用とする。
16. その他
熱中症対策として、各チーム保護者2名までベンチ入りを許可することがある。
17. 上記以外は全日本軟式野球連盟規約『学童の部』を採用する。
ただし、投球制限は設けない。

* 開・閉会式のプラカードは東武鉄道で用意する。